

平成 29 年度
NO. 12
2 月 1 日発行
2 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

春に向けて

校長 矢島 直行

早いもので年が明けてから1か月が過ぎました。平成29年度の登校日数は残すところ、修了式、卒業式まで35日余りとなりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といいますが、一日一日を大切にしながら年度末のまとめとともに次年度に向けての準備に取り組んでいきたいです。

先日、東京に4年ぶりの大雪がありました。夕方の帰宅時と重なり交通機関が乱れ、帰宅される方に大きな影響がありました。翌朝、思っていた以上に雪が積もり驚かれた方もいたのではないのでしょうか。一面白銀の世界となりました。普段は自転車で通勤している本校の教員もこの日は徒歩や電車での通勤となるなど影響がありましたが、出勤することができた教職員はすぐに子供たちが安全に登校できるよう歩行路の除雪にあたりました。子供たちのために何ができるのかを考え、主体的に取り組んでいくことが大切であることを感じました。

さて、インフルエンザが流行っていますが、本校でも11学級が学級閉鎖になる期間がありました。普段は24学級809名の子供たちが登校しています。教室からは子供たちの元気な声や歌声が聞こえ楽しく勉強している姿が見られます。また、休み時間は友達と仲よく校庭で元気一杯に遊んでいます。その姿は、賑やかで活気に溢れています。しかし、学級閉鎖中、子供たちの声が聞こえず、いつもいるはずの子供たちの姿を見ることができない教室があり、非常に寂しく感じられました。門で挨拶をしても人数の少なさを感じます。全学級が登校した日は、本当に安心しました。久しぶりに教室で勉強をする子供たちや元気に友達と話したり遊んだりする姿を見ることができ大変嬉しかったです。やはり学校は子供が主役です。すべての子供たちが元気に楽しく登校できることが何よりであることを改めて感じました。これからもインフルエンザの流行が考えられます。引き続き子供たちがインフルエンザや風邪にかからないように、教室の換気には十分に気を付けるとともに手洗いやうがいの励行に努めていきます。

この時期、校庭にあります梅の枝にはつぼみがつきます。今年も見てみましたら、大きなつぼみが脹らんでいました。大雪や最低気温が氷点下4度になる寒さの中にあっても、春を迎える準備をしています。暦の上でも4日には立春を迎えます。

学校でもこれから春に向けての準備をします。3年生のクラブ見学、5年生と6年生の送別スポーツ大会、6年生を送る会、感謝の会など、6年生へのこれまでの活動に対して感謝をする行事が並んでいます。6年生にとっては小学校生活最後の思い出づくりでもあります。また、5年生には次は自分たちが最高学年となる自覚をもつ機会ともなります。

草木だけでなく、春に向けて準備をするのは学校においても同じことがいえます。子供たち一人一人が学習、生活の学年のまとめをしっかりと行い、春に向けて頑張る子供たちを教職員が一丸となって4月の進学、進級に向けての準備に取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。